

新刊のご案内

「2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」
について

情報事業部

「冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」は、ラーメン構造の柱に冷間成形角形鋼管を用いる場合の耐震性能を向上させるのに必要な設計、鉄骨製作に関するマニュアルとして、平成8年（1996年）に初版が刊行されました。その後、平成15年（2003年）、平成20年（2008年）に改訂を行いました。

今回の平成30年（2018年）の改訂では、2008年版以降の建築基準法令の改正や角形鋼管に関する新たな知見をマニュアルに取り入れました。主な改訂点は以下のとおりです。

- (1) BCRの製品規定範囲の拡大（板厚：25mmまで、管径：150mmまで）を記述した。
- (2) 第3章の「3.6 柱はり接合部パネル」において、上下階で柱サイズの異なる場合の異幅接合形式について記述した。
- (3) STKR（一般構造用角形鋼管）を柱に用いた既存不適格建築物を対象に、「STKR柱補強設計・施工マニュアル」が2008年版マニュアルの補遺として平成26年（2014年）に作成されたが、付録10に補遺として記載する共に、第4章の「4.4 STKR柱補強」にその概要を記述した。
- (4) 第5章の「5.3 工作」において、各ダイヤフラム形式の溶接施工上の留意点について記述した。
- (5) 第5章において、角形鋼管柱と通しダイヤフラムの溶接方法をロボット溶接を中心とした構成に変え、25度狭開先ロボット溶接法についての概要を記述した。
- (6) BCP325T（建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管）に適用される溶接方法を「脆性破壊防止溶接積層法」の名称に変更すると共に、最終層の溶接部の寸法を最新のものに変更した（「5.4.7溶接施工条件」）。
- (7) 文章、図を旧版より分かり易い表現に変更した箇所が幾つかあるが、内容に関する変更は無い。
- (8) その他、章をわたって記述が重複していた部分について整理した。



目次

序章	
第1章	総則
第2章	骨組の耐震設計
第3章	接合部の設計
第4章	既存建築物の増改築時における対応
第5章	冷間成形角形鋼管の加工・施工法
付録	

発行：一般財団法人 日本建築センター
 監修：国立研究開発法人 建築研究所
 編集：2018年版 冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル編集委員会
 発行日：平成30年2月28日
 価格：5,940円（税込）
 情報交流会正会員価格：5,340円（税込）
 体裁：A4判 400頁
 ISBN：978-4-88910-172-0